

第8回山ノ内町議会報告会実施結果報告書（西部）

日 時	平成26年11月8日（土） 午後5時30～午後7時30分
場 所	よませふれあいセンター
参加人数	住民参加者：54人 議員14人 事務局1人
地元協力団体	西部協議会・西部公民館
議員役割分担表	<p>総括責任者 小渕 茂昭</p> <p>司会進行 小渕 茂昭</p> <p>常任委員会報告者</p> <p>総務常任委員会 田中 篤</p> <p>社会文教常任委員会 高田 佳久</p> <p>観光経済常任委員会 山本 良一</p> <p>広報常任委員会 小根澤 弘</p> <p>議会活性化研究会 布施谷裕泉</p> <p>記 録 者 徳竹 栄子</p> <p>出席議員 児玉 信治・小根澤 弘・望月 貞明・西 宗亮・田中 篤・布施谷裕泉 高山 祐一・高田 佳久・山本 良一・黒岩 浩一・徳竹 栄子・小渕 茂昭 山本一二三・渡辺 正男</p>
次第（担当者）	<p>1. 開 会 司会者 小渕 茂昭</p> <p>2. あいさつ</p> <p>(1)主催者 町議会議長 児玉 信治</p> <p>(2)共催者代表 西部協議会会長 青木 春夫</p> <p>3. 報告事項</p> <p>(1)議会常任委員会等報告</p> <p>①総務常任委員会 田中 篤</p> <p>②社会文教常任委員会 高田 佳久</p> <p>③観光経済常任委員会 山本 良一</p> <p>④広報常任委員会 小根澤 弘</p> <p>⑤議会活性化研究会 布施谷裕泉</p> <p>(2)質 疑</p> <p>4. 懇談事項</p> <p>テーマ「人口減少と地域防災について」</p> <p>5. 閉 会 司会者 小渕 茂昭</p>
報告事項の質疑	※報告事項の質疑とテーマ等の懇談について、一括意見を求めた。
懇談会意見	<p>質問：高齢者が地元で買い物が出来ないか。商業施設（医療、食料品、飲食）が少ない、商業施設をまじえた総合的な町づくりについての考えと商業誘致の考えは。</p> <p>回答：商工会員の皆様が「ワクワク商店街」を社協とボランティアの皆様が主体となって月に2回開催している。</p> <p>回答：星川に新店舗が開業されている。議会としては方向は出していない。若い方がビジネス出来やすい事を考えていく。</p>

質問：種類の違う情報誌を何部位読んでいるか全議員に聞きたい。

回答：1部→0名、2部→4名、3部→6名、4部→3名、5部→1名

質問：視覚障害者の方にテープを作成しているが議会だよりが読みにくく言葉が難しい、もっとゆるい言葉でお願いしたい。新しくみんなの広場はとてもわかりやすかった。

回答：さらにわかりやすく読みやすい様にこれからも努力していく。

質問：タクシー券の補助はどういう形で出されているか。中野市でも使用できないのか。

回答：対象者900名に対し申請者502人、利用者390人（平成25年度実績）なので利用者が少ないので利用しやすい状況を議会も町へ提言している。タクシー、電車等で中野市でも利用できる。

質問：町は観光と農業をすすめているが、地産地消の取り組みとして地元産の農産物を宿泊業の方々がどの様にピーアールしているか。

回答：宿泊業の個々の一部は行っている。また道の駅を利用し地元農産物を利用している。連盟へ提言していく。

※ 観光経済常任委員会として、グリーンツーリズム協議会との絡みを含めて観光連盟に提言していきたい。

要望：安かろう、悪かろうでなく地元産の目に見える安心・安全な農産物の提供をする事により、高い値段の誘客につながるのではないかと思う。もっと宿泊業者もピーアールして共に刺激し合う事が出来るのではないか。良い物を使えばお客さんも喜んでくれると思う。

質問：タクシーの台数が少なく待ち時間がかかる、年6千円のタクシー券では中野へ行くと2回くらい、町内であれば何回かは使用できる。6千円では少ない、路線バスの接続的なことも考えてほしい。何か能率良く町内を循環できる方法はないか。

回答：過去にデマンド交通を実施したが利用者がいなかった。今後研究課題である。

質問：観光の町として銘打っているにもかかわらず、路線バス、電車の接続が悪い状況で良いのか。お客様や住民の為に もっと利便性が欲しい。もっと良い方法を考えて欲しい。

回答：旅館・ホテルは送迎している。また、マイカーが8割でほとんどである、予約以外その他の方々の利便性について公共交通の会議でダイヤについても要望している。バス会社の運行にはその意見は加えられている。

質問：タクシー券について知らない方、うっかりする方が多くいる。予算も450万円あるという事であれば、対象者全員に配布してもらいたい。

回答：基本的には申請方式である。使う人使わない人がいると考えるがご要望を町へ提言していく。

※ 町に質したところ、金券方式となるため今までどおりとしたいとのこと。ただし、1回目の申請後は、内容変更が無い限り継続となります。

質問：熊の出没についてはPTA・保護者への報告は簡単である。町民には情報をもっと詳しく、わかりやすく情報を流して欲しい。

回答：現在オクレンジャー一斉メールで流れる事になっている。詳しい場所等具体的に情報を流す様議会としても強く要望していく。

回答：熊の出没が今年度は多く、猟友会には全面的に協力を頂き、パトロール出動も多く捕獲している。また、早朝よりパトロールして頂いている。

(西小の校長先生の感想として)

宇木の熊の出没の対応について学校に対し、警察の対応が良く、オクレンジャーの活用で10月6日は登校取りやめ通報した(6時54分)

情報に対し学校、地域との連携をこれからもさらに整理し協議が必要と思う。

西小学校は、今年度児童110名、来年度は121名となり増加している。人口減少状況の中での増加でうれしい。地域の活力として地域を誇りに思うことが大切であると感じた。今後、長野県信州型コミュニティースクールを進めるうえで学校評議委員・民生委員・みまもり隊等の横のつながりを持ち地域・学校・家庭の3つが連携して学校をつくり子供達を育て・支え・守ってゆく。地域に愛着が持てる教育をしていきたい。ご協力をよろしく願います。

質問：地域防災の観点から防災無線について、塩尻・川上村を視察して来た。防災無線として光ファイバーを引いて頂き、色々な情報や防災も兼ねた多種多様な情報伝達できる良い方法を考えて欲しい。

回答：現在は有線放送の対応であるが、機器の更新が出来ず限界に来ている。現在、各家庭へ無線の子機を検討・研究しているところである。今後審議会が予定されている中でただいまの提案や要望を提言していく。

質問：人口減少について調べてきた資料ですと2000年、19,500人、2014年には13,000人余であります。20%弱の減少の状況の中、平成32年の推移計画は12,048人であるが目標は13,000人とあるが、具体的に明確な方策はあるか。

回答：計画の中での目標値であります。町として社会動態の中で色々な施策として若者定住策を実施しているが、なかなか決定的なものではない現状であるが他市町村より良いものもある。また町もプロジェクトチームを設置して今後検討している。今後も町と共に議会も提言・要望を検索して未来を考えていく。

質問：国の発表で当町の人口は、2040年、7,700名になると予想されている。13,000人を減少抑制する事を重視するか。大切な税金の使い方として抑制する為にするのか、それとも減少をあきらめて少ない人口数で質の高い行政サービスに税金を使うのか、その点何か提案はあるか聞きたい。

回答：議会としての答弁は出来ない。言えることは自然減は仕方ないが、あきらめずに町の魅力を高めれば可能性もある。差別化して町づくりをしていく事が行政の責務でもあり、町民、町、皆で協力して町づくりをしなければならない。競争社会にもつながるので危惧している。

提案：人口増に向けて先進地への視察、商業地を増し雇用を。各地区の良さを見直して活性化しているところは人口減は弱いと考える。地区の良さを見直し、良さを山ノ内全体で共有して行けば良いと思う。

回答：視察で銀座 NAGANO と NPO ふるさと回帰センターを見学した。Iターン、Uターンを専門とする組織である。全国からパンフレットが来ているが、当町はきめこまやかさとピーアールが弱い。視察でわかった事は、田舎に住みたい方は多くいるとのことである。しかし、その方々への対応としては、Face-to-Face で何をどうしたいかを事

細やかに聞き、応えて移住をすすめていかなければ難しい。東京一極集中型が解消しないかぎり人口減少は続く。そうとう努力しなければならない。20代、30代が住みたい、そんな地域にして行く展開が必要と考える。

※ 総務常任委員会として、国の地方創生戦略に呼応した町の工夫を要望していきます。

質問：山ノ内町には体育館が無い、今後の計画は、何も構想は無いのか。

回答：町の姿勢としては、後期5ヵ年計画の中で28年からスタートする計画である。議会として、平成27年度から検討委員会を設立して検討することと決算意見をつけている。出来るだけ早い段階で検討する事を要望している。

質問：保育園の延長時間6時30分迄、小学校の児童クラブは6時迄、30分のこの差があって不都合があるとの保護者の意見がある。統一する事は出来ないか。また保育園延長は、三水では無料であるが山ノ内はどうか。

回答：担当所管が違うのも理由である。この件については把握していないので調査する。

質問：両方いる家族では、30分の開きは大変不都合である。所管があっちだ、こっちだと言われても困る。行政で改善すべきである。同じ山ノ内の中で子供達を預けているのだから是非改善して欲しい。

回答：切実な願いととらえて、調整して現状把握して何らかの容で答えをしたいと考える。

※ 27年度から児童クラブの開設時間が30分延長され、保育所の延長保育同様午後6時30分となります。